

## 記載例

### 別記様式第4号 事業計画書及び収支見積書(解体業者用)

平成21年7月1日現在作成

1-1. 事業の全体計画(業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種(乗用車、大型車)を含む。)

個人ユーザー、引取業者及びフロン類回収業者等から引き取った使用済自動車を当社事業所で解体する。  
解体後の有用部品(バンパー、ドア、エンジン等)は、中古部品業者又は金属商等に売却する。  
解体に伴って発生した産業廃棄物については、産業廃棄物処理業者に委託して処分する。  
解体した自動車については、破砕業者である〇〇株式会社〇〇事業所に引き渡す。  
扱う自動車は乗用車のみで大型車は取り扱わない。

|      |        |      |    |     |      |
|------|--------|------|----|-----|------|
| 業務時間 | 8時～17時 | 従業員数 | 4人 | 休業日 | 日曜祝日 |
|------|--------|------|----|-----|------|

#### 1-2. 使用済自動車等の引取実績及び計画

| 年 度   | 18年度実績<br>(3年前) | 19年度実績<br>(2年前) | 20年度実績<br>(1年前) | 許可取得後の<br>年間計画 |
|-------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 引取台数  | 530 台           | 621 台           | 605 台           | 600 台          |
| 主な引取先 | (株)〇〇販売         | (株)〇〇販売         | (株)〇〇販売         | (株)〇〇販売        |

主な引取先がない場合(個人ユーザーからの引取が主な場合)は、「なし」と記入。

#### 1-3. 解体実績

| 年 度    | 18年度実績<br>(3年前) | 19年度実績<br>(2年前) | 20年度実績<br>(1年前) |
|--------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 年間処理実績 | 530 台           | 621 台           | 605 台           |
| 年間稼働日数 | 290 日           | 290 日           | 290 日           |
| 平均処理実績 | 1.8 台/日         | 2.1 台/日         | 2.1 台/日         |

平均処理実績 = 年間処理実績 ÷ 年間稼働日数

#### 1-4. 解体能力

| 1日当処理能力 | 稼働予定日数 | 年間処理能力 |
|---------|--------|--------|
| 3 台/日   | 290 日  | 870 台  |

自動車整備業者の場合の1日当処理能力は、部品取りに充てることが可能な時間から計算。  
(例: 5日で1台程度の場合: 0.2台/日)

年間処理能力 = 1日当処理能力 × 稼働予定日数

#### 1-5. 保管の状況

| 使用済自動車 | 解体自動車  |
|--------|--------|
| 保管量の上限 | 保管量の上限 |
| 20 台   | 20 台   |
| ( 5 台) | ( 0 台) |
| 現在保管量  | 現在保管量  |
| 5 台    | 1 台    |
| ( 1 台) | ( 0 台) |

事業所以外の場所で保管している場合は、その台数を内数で( )に記入すること。  
使用済自動車は解体前(部品取り前)の車、解体自動車は解体後(部品取り後)の車。

作成年月日は申請の日と同日にしてください。

#### 1-1 事業の全体計画

引取から引渡までの流れを説明する内容を記載してください。  
有用物回収品目、発生廃棄物の処理についても概要を記載してください。  
取引先等の詳細は別記様式第8号に記載してください。

#### 1-2 使用済自動車等の引取実績及び計画

過去3年間の引取実績及び許可更新年度の年間計画について記載してください。  
主な引取先がない場合(個人ユーザーからの引取が主な場合)は、「なし」と記入してください。

#### 1-3 解体実績

過去3年間の解体実績について記載してください。  
平均処理実績 = 年間処理実績 ÷ 年間稼働日数で計算してください。

#### 1-4 解体能力

事業所で、作業員数や施設的能力を考慮した上で、1日当たりの解体可能な車の台数を記載してください。  
年間処理能力 = 1日当たりの処理能力 × 稼働予定日数で計算してください。

#### 1-5 保管の状況

保管量の上限は、解体業許可証に添付された「解体業に係る事業場の所在地及び事業の業に供する施設の概要」の保管量(解体事業所以外の場所の保管量も含む。)どおりに記載してください。  
現在保管量は、作成年月日時点での使用済自動車及び解体自動車の保管量(解体事業所以外の場所の保管量も含む。)に記載してください。  
各欄の下段の括弧内は、解体事業所以外の場所で保管している台数について記載してください。  
保管量の上限を超過するなど不適正に大量に保管されている場合は、別記様式第6号の添付が必要になります。